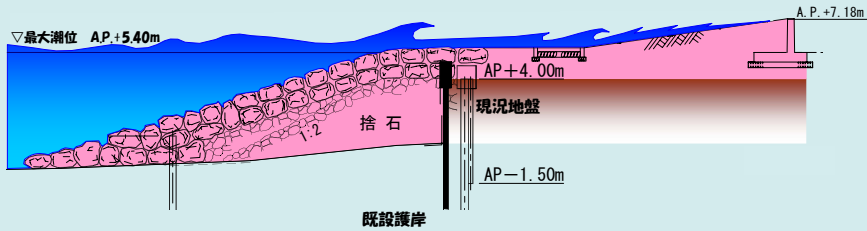


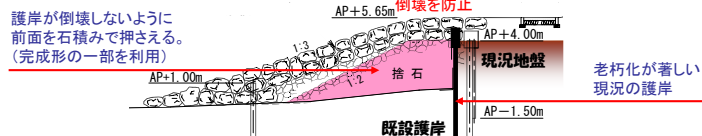
## 工事から1年後の検証・評価<防護>



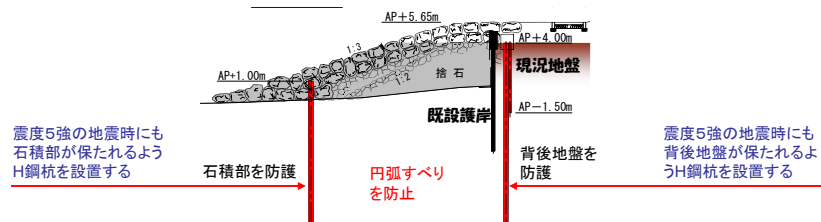
平成19年11月

### 1. “防護”に対する4つの指標

- ① “緊急対応”への指標 : 既設護岸の補強に必要な石積が確保されたか。  
◇老朽化した現在の護岸の倒壊防止を図る。



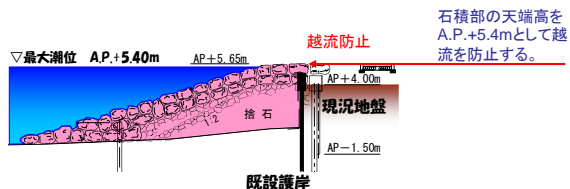
- ② “耐震”への指標 : H鋼杭(海側、陸側)が打設されたか。  
◇震度5強の地震時にも石積部が保たれるようH鋼杭を設置する。  
◇ “ ” 背後地盤が “ ” 。



③ 最大潮位での”越流防止”への指標

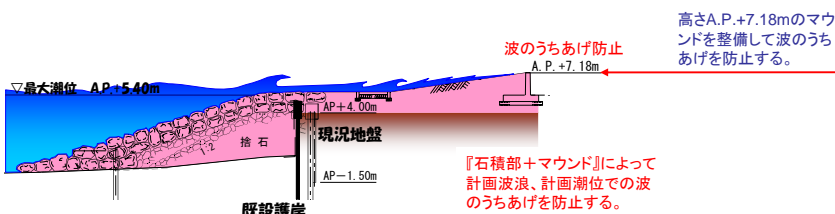
: 石積堤の高さがA.P.+5.4mに達しているか。

◇A.P.+5.4mに達する最大潮位でも越流しない高さの護岸とする。



④ ”高潮災害防止”への指標 : 背後地のマウンド高さがA.P.+7.18mに達しているか。

◇高潮時にも波が背後地に及ばないようにA.P.+7.18mの高さのマウンドを護岸背後に整備する。



3

## 2. 検証基準

### 目標達成基準

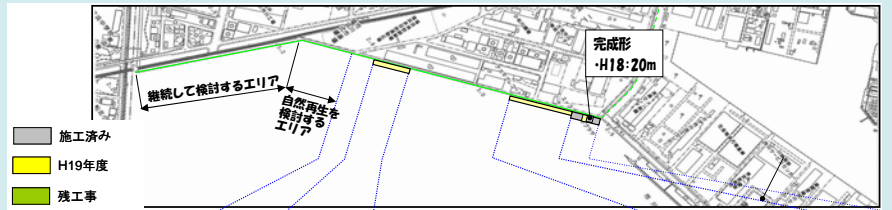
高潮等の災害から背後地の安全を早期に確保すること。

検証項目	目標達成時期	検証場所	基準とする値
防護の確保状況	平成22年度頃	塩浜2丁目	地域の防護に対する4つ指標がそれぞれ施工延長900mにわたって、 ①緊急対応への指標 100% ②耐震の指標 100% ③越流防止への指標 100% ④高潮災害防止への指標 - を確保すること。

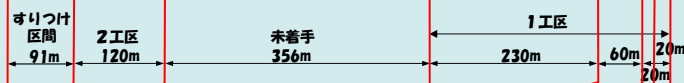
注)④のA.P.+7.18mまでの背後地の高さの確保は、背後地の街づくりと調整中であるため、数値目標は設定しない。

4

### 3. H19年度工事の検証結果(工区ごと)



工種・箇所区分		⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
海城工事	捨石+H鋼杭(倒壊防止)		120m					230m		100m
	被覆石(バリエーション)									20m
陸城工事	H鋼杭+鋼矢板(倒壊防止)									80m
	被覆石(バリエーション)									20m



	実績	状況	実績	状況	実績	状況	実績	状況	実績	状況	実績	状況	実績	状況
①緊急対応	無し	0.0%	有り	100.0%	無し	0.0%	有り	100.0%	有り	100.0%	有り	100.0%	有り	100.0%
②耐震(H鋼杭:海陸)	無し	0.0%	一部有り	18.5%	無し	0.0%	海側のみ	50.0%	有り	100.0%	有り	100.0%	海側のみ	50.0%
③越流防止(+5.4m)	無し	0.0%	4.0m	74.1%	0.0m	0.0%	4.0m	74.1%	3.0m	55.8%	5.4m	100.0%	4.0m	74.1%
④高潮災害防止(+7.18m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### 4. H19年度工事の検証結果(指標ごと)

① "緊急対応"への指標 : 既設護岸の補強に必要な石積が確保されたか。  
 ◇老朽化した現在の護岸の倒壊防止を図る。 ⇒ 50/100

② "耐震"への指標 : H鋼杭(海側、陸側)が打設されたか。  
 ◇震度5強の地震時にも石積部が保たれるようH鋼杭を設置する。  
 ◇ " " 背後地盤が " " 。  
 ⇒ 25/100

③ 最大潮位での"越流防止"への指標  
 : 石積堤の高さがA.P.+5.4mに達しているか。  
 ◇A.P.+5.4mに達する最大潮位でも越流しない高さの護岸とする。  
 ⇒ 37/100

④ "高潮災害防止"への指標 : 背後地のマウンド高さがA.P.+7.18mに達しているか。  
 ◇高潮時にも波が背後地に及ばないようA.P.+7.18mの高さのマウンドを護岸背後に整備する。 ⇒ 後背地との調整中

## 5. H19年度工事の評価

目標達成基準	高潮等の災害から背後地の安全を早期に確保すること。	
↓		
検証結果	① "緊急対応"への指標	⇒ 50/100 (11/100)
	② "耐震"への指標	⇒ 25/100 (10/100)
	③ 最大潮位での"越流防止"への指標	⇒ 37/100 ( 8/100)
	④ "高潮災害防止"への指標	⇒ 背後地の街づくりと調整中
注)カッコ内はH18年度		
↓		
防護の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H18年度に対する数値は大きく向上している(最大で4.8倍)。</li> <li>・目標達成年(H22年度頃)までの達成を考え、効率的で効果的な工事の進め方について、周辺環境に配慮しつつ検討していく必要がある。</li> <li>・④"高潮災害防止"への指標についても、早急に背後地の街づくり計画との調整を進め、高潮災害に対する地域の安全確保を図る必要がある。</li> </ul>	

7

## 参考. H20年度実施計画(案)での達成見込

項目	目標値 (%)	H18	H19	H20		
				1案	2案	3案
① "緊急対応"への指標	100	11	50	90	90	90
② "耐震"への指標	100	10	25	70	64	66
③ 最大潮位での"越流防止"への指標	100	8	37	66	69	69
④ "高潮災害防止"への指標	—	—	—	—	—	—

注1)H20年度

- 1案 : 完成形なし案
- 2案 : 完成形100m案
- 3案 : 完成形 40m案

注2)④の指標については  
背後地の街づくりと調整中

8